



# 新年度予算に市民の切実な願いを盛り込んで

日本共産党甲賀市議員団が岩永市長に申し入れ

新年度予算編成にむけて、市民の切実な願いを盛り込んでほしい、と日本共産党甲賀市議員団が11月26日、と104項目の要望書を岩永市長に手渡し(写真)懇談しました。山岡議員は「市長が掲げる視点は共感する点があるが、市民の願い、声に寄り添った具体化を」と要望しました。

12月定例議会は11月26日から12月23日まで開かれました。市長選後初めての議会ということで、市長の所信表明に対して、各会派による代表質問が行われました。日本共産党を代表して山岡光広議員が登壇し、①総選挙結果、②市長選結果、③市民の政治参加促進・投票率向上、④地

## 山岡光広議員が代表質問

### 市長の所信表明に対し 39項目の質問



方創生、⑤所信表明の基本点、⑥「子育て・教育」「地域経済」「福祉・介護」を柱にした具体的な施策、⑦災害に強いまちづくり、の7つのテーマ、合計39項目について、持ち時間(39分)をいっぱい使って、市長の政治姿勢と市民の切実な要求実現を求めました。

山岡議員は、総選挙の焦点であった裏金問題、大学学費、選択的夫婦別姓、健康保険証廃止について市長の所見を求めました。このなかで夫婦別姓について市長は「選択できること

が望ましい」との認識を示しました。また岩永市長が無投票で三選したことについて「八年前の初当選時「4期は長すぎる」との認識は今も変わらないのか。国政への出馬は視野にあるのか」と質したことに「この4年間の市政運営に全身全霊で取り組む決意であり、それ以外のことは念頭にない」と答弁しました。

山岡議員は、市長が掲げる「子育て・教育NO1」「地域経済」「福祉・介護」の三つの施策について具体的に予算に盛り込むよう求めました。このなかで、加齢に伴う補聴器購入助成の対象を非課税世帯に限定している点について「利用しやすいように所得制限の緩和」を要求。これに「検討したい」と。また特に甲南地域の児童クラブの入所申し込みが定員を超えている現状を示しながら「待機」を生み出さないために施設改善を要求。これにも「公共施設の活用も含めて準備をすすめている」との回答がありました。また75歳以上高齢者に人間ドック助成を、特に市の独自施策として75歳の誕生日のみ有効の助成券をプレゼントしたらどうか、と提案しましたが、「県内市町と連携し、保健事業の拡充に努めたい」と答弁しました。詳細は、ネットで録画中継をご覧ください。

## 代表質問に対する 答弁詳報

岩永市長の所信表明のなかで「子育て・教育」「地域経済」「福祉・介護」に関する施策について、山岡光広議員が代表質問で取り上げた主なポイントと答弁要旨を紹介します。

新年度児童クラブの入所希望者数

	定員	支援単位	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
甲南わくわく	120	3	42	33	31	17	10	0	133
甲南そまっこ	160	4	42	36	30	24	19	6	157
甲南なかよし	80	2	32	24	19	11	7	7	100
杜のなかよし	25	1	11	10	10	9	2	1	43
	385	10	127	103	90	61	38	14	433

### 《子育て・教育NO1》

【問】所信表明で「児童クラブの充実」を掲げている。新年度の入所希望は、全体で利用定員 1575 人に対して、希望は 1466 人と満たしているが、甲南地域は、定員を上回る入所希望がある(上表)。来年4月で「待機」を生み出さないために緊急対策が必要ではないか。

【答】待機の心配なく安心して利用いただくことができるよう、民間活力の推進など計画的な体制整備を進めていく。

【問】学校図書館整備。現在中学校図書館標準冊数達成は0%なのに令和10年目標は100%となっている。目標達成のためには特別の予算化が必要。

【答】新たな書籍の購入だけでなく、適切な除籍も行いながら、市の推進計画で指標も設定して国の示す100%に近づけていきたい。

### 《地域経済》

【問】住宅リフォーム助成は、業者からも市民からも喜ばれている施策。15年近く経過しているの、「再度の申請」も認めてほしい。

【答】一般や福祉枠は、本年度も予算額をうわまわる申し込みがあった。現行の取り扱いを継続していきたい。

### 《福祉・介護》

【問】加齢に伴う難聴者を対象に補聴器購入補助ができたのはいいが、対象が市民税非課税世帯、補助額も2万円。所得制限をなくし補助額の増額を。

【答】今年度から実施し10月末までで10人が利用。補聴器の使用状況や社会参加の状況についてアンケートを実施、事業効果を検証したうえで制度改正を検討したい。

【問】75歳の誕生日に「おめでとう」のメッセージをつけて「人間ドック助成券」をプレゼントしたらどうか。

【答】広域連合に意見を伝えたいので、県内市町と連携し、保健事業の拡充に努めたい。

